

みやま市地域公共交通網形成計画の策定について

(1) 目的

本市では、人口減少や少子高齢化の進展、自家用車の普及などにより路線バスや鉄道利用者の減少が続いている。また、高齢者や障害がある方等を対象に福祉バスを市内全域で10路線運行しているが、利用者が限られているため、誰もが利用できるコミュニティバス等の運行など、交通利便性の向上を求める意見が市民より多く寄せられている。

そのため、市民の移動手段となる公共交通の利便性・効率性の向上を図り、まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通ネットワークを構築するために、「地域公共交通網形成計画」を策定する。

(2) 計画の期間

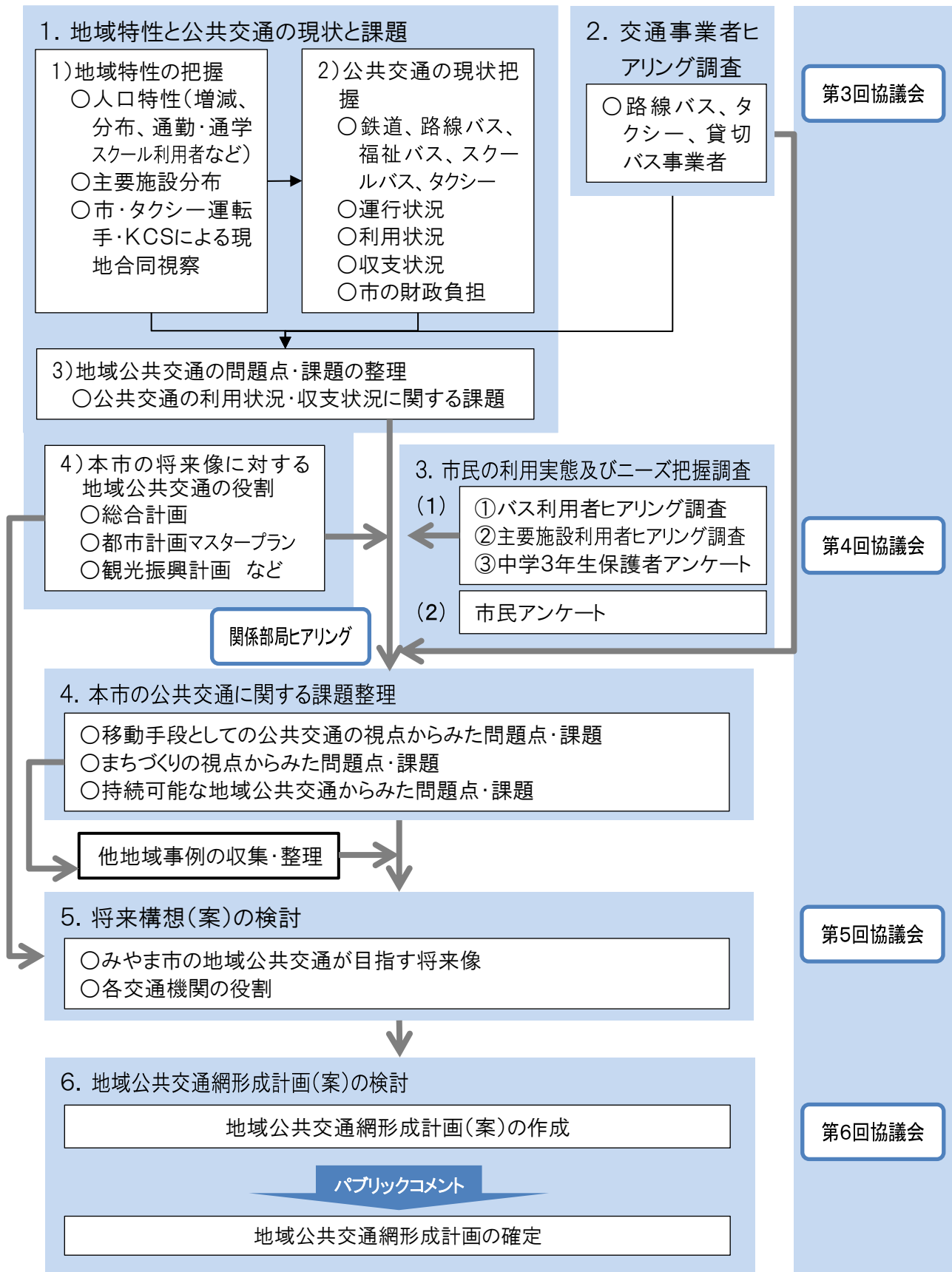
平成30年度から平成34年までの5年間

(3) 計画策定支援業務委託先

福岡市博多区博多駅前1-4-4

株式会社 ケー・シー・エス 九州支社

I 地域公共交通網形成計画策定の流れ



Ⅱ 調査項目

(1) 交通事業者ヒアリング調査

[交通事業者ヒアリング調査（案）]

項目	概要	
目的	定量的なデータからは把握できない利用者の特性や公共交通利用者の不満や改善要望等を把握するため、日頃から公共交通利用者と直に接している交通事業者を対象に、以下のヒアリングを実施する。	
対象	路線バス：①堀川バス タクシー：①瀬高交通自動車(有)、②ニコニコ光タクシー(株) その他：①貸切バス事業者	
調査方法	事前にヒアリング調査票を送付した上で、実施。 1事業者あたり1時間～1時間30分程度を想定	
設問内容	公共交通利用者に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○利用特性 <ul style="list-style-type: none"> ・路線別の利用者の特徴（属性や外出目的など） ・利用行動パターン（乗り継ぎ状況など） ・利用が多い区間または少ない区間の地域特性 ○公共交通利用者の不満や改善要望 <ul style="list-style-type: none"> ・路線やダイヤ、運賃、乗り継ぎなどに対する不満や改善要望
	交通事業者の公共交通に対する意向	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通の運行面や採算面での問題点・課題・改善方策 ○今後の運行を継続していくための問題点・課題 <ul style="list-style-type: none"> ・行政や地域に対する要望 ・事業者が抱える問題点（運転手の確保や車両の更新など）

(2) 市民の利用実態およびニーズ把握調査

① バス利用者ヒアリング調査

[福祉バス利用者ヒアリング調査（案）]

項目	概要	
目的	福祉バスの利用者数や特性、また利用する理由などを調査することで現状を把握するとともに、今後のコミュニティバスに対する要望や移行した際の利用者数及び利用者特性の変化等を把握するため、福祉バス利用者を対象に以下のヒアリングを実施する。	
対象	福祉バス 全路線全便 3日間	
調査方法	調査員が乗り込み、カウント及び聞き取りを実施	
把握内容	利用状況（カウントでの把握）	・バス停毎の乗降者数
	利用状況（聞き取りでの把握）	・利用目的、利用頻度、目的地 ・福祉バスを選択している理由 など
	バスサービス等へのニーズ	・福祉バスに対する改善要望 ・コミュニティバスに対する要望 ・公共交通での1回の外出に支払える金額（片道） ・公共交通に関する自由意見 など
	属性	・年齢、性別、障がいの有無、運転免許保有状況 など

② 主要生活拠点施設利用者ヒアリング調査

[主要生活拠点施設管理者アンケート調査（案）]

項目	概要	
目的	施設利用者の居住地域特性や移動手段特性、また利用者の属性を把握するために、市内の主要生活利便施設を対象にアンケート調査を実施する。	
対象	主要生活拠点施設（50施設程度を想定） 鉄道駅、店舗、病院、観光施設など	
調査方法	市を通じた配布・回収	
設問内容	基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・営業曜日、営業時間帯 ・利用の多い曜日（上位3位） ・利用の多い時間帯
	施設利用者の情報	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の年齢、居住地域、移動手段
	公共交通との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・施設で検討可能なこと ・公共交通に関する意見

[主要生活拠点施設利用者ヒアリング調査（案）]

項目	概要	
目的	生活拠点施設アンケート調査の結果を踏まえ、利用者の意向の把握が必要な施設を対象に、施設までのアクセスで困っていることや公共交通に対するニーズ、公共交通を運行した場合の利用意向などを把握するための利用者ヒアリング調査を実施する。	
対象	主要生活拠点施設（6箇所程度）	
調査方法	調査員による直接聞き取り方式 ※回収目標 200票以上	
設問内容	外出移動特性	<ul style="list-style-type: none"> ・施設までの移動手段、施設の利用状況、立ち寄り先など
	公共交通の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用の有無、利用頻度、利用パターン など
	公共交通に対する意向	<ul style="list-style-type: none"> ・施設までのアクセスで困っていること ・公共交通に対するニーズ ・公共交通を運行した場合の利用意向 など
	属性	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別、運転免許保有状況 など

③ 中学3年生保護者アンケート調査

[中学3年生保護者アンケート（案）]

項 目	概 要	
目 的	市民アンケートの補足調査として、高校への通学における移動手段に関する不安や不満などを把握するため、高校進学予定者の保護者（中学3年生保護者）を対象にしたアンケートを中学校と連携して実施する。	
対 象	市内の全中学3年生の保護者（約340名）	
調査方法	学校で配布・回収	
設問内容	【全員】 属性	<ul style="list-style-type: none"> 通学している中学校、居住地、世帯の自動車保有状況、進学希望の有無、（進学する場合）志望高校
	【進学希望予定者】 予定の通学手段	<ul style="list-style-type: none"> 高校通学時の公共交通利用の有無 [利用する、悪天候時等状況によって利用する、利用しない、わからない]
	【公共交通利用予定者】 公共交通の利用予定や必要なサービス	<ul style="list-style-type: none"> 利用する公共交通（JR、西鉄、堀川バス） 公共交通を利用するため必要と思うサービス（想定される以下の項目より選択） [通学時間帯に合わせた運行サービス、自宅付近から最寄りの駅・バス停まで運行する交通サービス、鉄道とバスとの乗り継ぎ時間の改善、時刻表・路線図などの情報提供 など]
	【公共交通未利用予定者】 通学手段や公共交通を利用しない理由	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通以外の通学手段（徒歩・自転車、送迎） 公共交通を利用しない理由（想定される以下の項目より選択） [公共交通の交通費が高い、通学時間帯のダイヤが合わない、自宅付近に公共交通が運行されていない など]
	【全員】 公共交通に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の情報取得に関する満足度 公共交通に関する自由意見